

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	313.5	障害者スポーツ大会開催事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人等の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	04	障害福祉費
			細目	102	障害者保護費
			細々目	03	身体障害者保護事業(県単)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	障がいのある人	スポーツ大会を開催することにより、社会参加を促すとともに、福祉の増進につなげる		
本年度事業内容	●障害者スポーツ大会開催事業 障害者スポーツ大会開催事業の開催運営を伊賀市障害者福祉連盟へ委託する。			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	844	450
	委託料	397	450
	補助金	447	
	その他		
合計(A+B)	1,564	1,170	1,170
③財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金	562	
	地方債		
	受益者負担		
一般財源	1,002	1,170	1,170
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
参加者数	人	400	450	500			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
参加者数	参加者数を指標とする	人	400 目標 (500)	450	500
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・17年度については、旧上野市と旧町村分で別々の開催であった。 ・平成18年10月からは、障害者自立支援法の地域生活支援事業へ移行予定。

評価	必要性	4	障害者連盟が一本化したことにより、旧上野市と旧町村部が一本化して開催できるよう支援等を行うとともに、より多くの障がいのある方が参加し、交流を行える場として開催できるよう支援していく必要がある。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	2		
				B